

改正法施行による審査期間について

- 複数の指定確認検査機関に対して6月末、9月末にヒアリングを実施し、確認済証の交付に至るまでの期間を確認したところ、半数以上の機関において、6月末時点よりも審査期間の増加が見られた。
- 事前審査から確認済証の交付に至る期間の増加の主な要因は、1件当たりの審査時間の想定以上の増加、不慣れな設計者等への対応に時間を要すること等が挙げられ、結果として、こうした増加要因に審査員（国家資格）の数が十分に対応し切れていない面がある。

<事前審査から確認済証までの平均処理期間※1>

	改正前	6月末時点	9月末時点
事前審査～本受付～確認済証交付	約 3～7 日程度	約 29 日	約 39 日

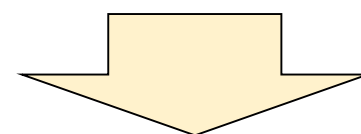
※1 審査件数全国1～3位の審査機関・着工戸数が減少幅が大きい地域を中心に15機関（民間）にヒアリング

※2 建築主事における審査期間（本受付～確認済証交付）は、改正前は7日以内、改正後は35日以内と定められている。

<審査期間増加の主な要因※3>

- ① 不慣れな設計者への対応
- ② 構造関係規定が審査対象になったことによる「許容応力度計算（構造計算）」の活用や省エネ義務化による「長期優良住宅」の活用の増加により、1件あたりの審査時間が増加
- ③ 他機関から来る新規客増加により、申請件数増加
- ④ 審査時間の増加に対する審査員数の不足

※3 15機関（民間）のうち、9月末時点で審査期間が増加傾向と回答した9機関へのヒアリング内容



AIを活用した建築確認申請図書の事前チェックサービスによる審査機関の負担軽減を図る

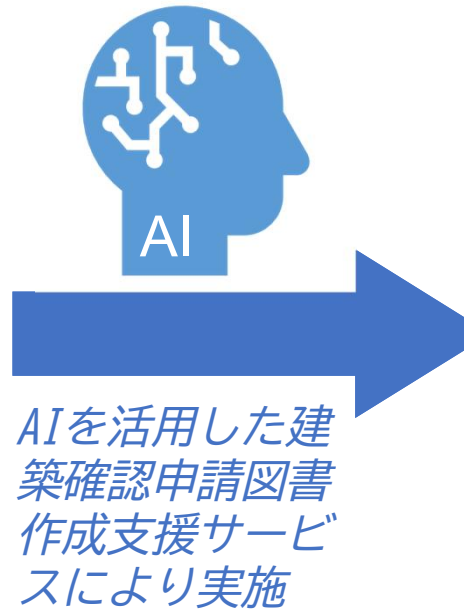
- 11月中のリリースを予定。

審査の流れ

① 形式审查

＜主な審査内容＞

- 必要な図面・書類が揃っているか
- 必要な事項が記載されているか
- 図面間の整合がとれているか



② 法適合審査

＜主な審査内容＞

- 法令等に定める基準等に適合しているか

AIを活用した建築確認申請図書作成支援サービス

- 必要な図書の有無、必要な事項の記載状況等を自動判定。
- 修正のための参考資料を提示

＜ 申請予定案件一覧に戻る ＞

新規案件作成

申請予定案件名を入力したうえで、ファイルをアップロードしてください

申請予定案件名 *

申請予定案件の名前を入力

各チェックリストに以下の表のファイルをアップロードしてください。

チェックリスト名	対象ファイル欄
建築申請書、各種図面、申請書、地盤算書	建築申請書、付付き取組、配置図、各階平面図、2面以上の立面図、2面以上の断面図、構造詳細図、地盤算書表、床座標手帳
仕様関係図書	仕様表、材料表、仕上げ表、壁紙、地盤関係書 等
構造関係図書	壁紙計算書、床各部金物算定 等
採光、断熱関係図書	採光計算書、断熱計算書 等

申請予定案件対象ファイル

ここに図面等ファイルをアップロード

「建築申請書、6面図、仕様表、地盤関係図書、採光関係図書、断熱関係図書」をドラッグ＆ドロップするか、クリックして選択してください

知照形式: pdf

↑

「仕様関係図書」の**対象ファイル**をドラッグ＆ドロップするか、クリックして選択してください

知照形式: pdf

申請予定案件結果

すべて

審査済

AIチェック通過

結果画面（開発中のもの）

70%

図面の基本情報

更新済

詳細を表示

設計者の氏名記載

確認済

信頼度 95%

詳細を表示

コメント

申請書には設計者氏名の記載がありますが、各図面の表題欄（PLANNING欄等）は空欄であり、要件を満たさない

面輪検定

AIチェック通過

信頼度 95%

詳細を表示

コメント

敷地面積、床面積、建築面積の算定方法が求積法として詳細に記載されており、チェック項目の要件を満たしています。

縮尺及び方位の記載

確認済

詳細を表示

配置図及び平面図

AIチェック通過

信頼度 90%

詳細を表示

コメント

配置図に縮尺1/100と方位記号が記載され、平面図に縮尺1/50・1/100が記載されており、要件を満たしています。